

し尿処理事業の今後の変更内容が分かる資料

環境部 クリーンセンター 施設建設課

現在のし尿処理は、平成2年3月に（処理能力：140 kL/日・処理方式：標準脱窒素処理方式）完成し、その後、下水道の普及に伴い搬入量が減少したため、平成14年3月に（処理能力：31 kL/日・処理方式：固液分離希釈放流）に設備改造し、し渣と汚泥を除去したのち井水による希釈を行ったうえで公共下水道へ放流し、武庫川下流流域下水道の処理施設にて処理されています。また、し尿処理施設の運転業務も民間に処理委託しております。

新し尿処理施設については、処理計画量が13 kL/日と更に小さくなるため、新ごみ処理施設整備に併せて公設民営のDBO方式事業として行い、エネルギー回収推進施設に合棟させて建設し、運営することを計画しています。

処理方式については、単純希釈放流方式、固液分離希釈放流方式、汚泥資源化（助燃剤）方式などが考えられますが、市で方式を指定せず事業者の判断において建設と運営費の総額で最も有利な方式の提案を求める予定です。